

2026年5月15日

慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部

総合政策学部および環境情報学部

「高等専門学校卒業生対象 第3学年編入学試験」新設について

(2027年入学試験実施/2028年4月入学)

総合政策学部および環境情報学部では、2028年4月から、高等専門学校卒業生(以下、「高専卒業生」という。)を対象とする「第3学年編入学制度」を新たに導入します。入学試験の概要については、本資料2ページ下部をご覧ください。

□ 制度創設の背景

総合政策学部および環境情報学部(SFC)は、「実践知」を教育理念として掲げ、多様な視点を横断しながら問題発見・問題解決に挑む人材を育ててきました。社会や技術、価値観が急速に変化する現代においては、答えを探すだけでなく、自ら問いを立て、その問いに対して実社会のフィールドで挑戦し続ける姿勢こそが重要です。

そのため SFC は、言語・データサイエンス・情報技術・ウェルネスなどを基盤とし、先端的な専門知識を深め、研究プロジェクトを通じて、それらを複数の領域で再構成・実践できることをカリキュラム・ポリシーに掲げています。

このような理念のもと、SFC は異なるバックグラウンドを持つ学生同士や教員が異なる主体との協働を行い、革新的な発想や方法を創造する環境を大切にしています。「高等専門学校卒業生対象 第3学年編入学試験」は、そうした SFC の精神をさらに前に進めるための新たなチャレンジです。

□ 高専教育への評価と本制度の意義

高等専門学校(以下「高専」という)では、早期からの実践的な学びを通して、課題発見や解決に主体的に取り組む姿勢を培ってきました。これはまさに SFC が重視する問題発見・問題解決型の実践知に通じるものです。加えて、高専卒業生が持つ知識と技術は、現場での経験に裏打ちされた実践知としての価値を備えています。こうしたバックグラウンドは、SFC の分野横断型カリキュラムと交わることで、新たな視点から問いを立て、革新的な発想や方法を創造するきっかけとなるはずで

す。この制度は、高専で培った専門性をそのままでは終わらせず、広い社会文脈の中で“開かれた”学びへと再構築する機会を提供します。

□ 第3学年編入という学びのステージ

3年次以降の SFC では、「特定分野の深化」よりもむしろ、多様な知の統合によって、現実社会の課題に挑む学びが中心となります。編入学により、高専で得てきた知識や経験を出発点として活用し、さらに「分野や方法にとらわれない発想」で課題を捉え直し、社会的に意義ある解決策を模索

することができます。

この制度は、専門知識を“極める”だけでなく、それらを“起点”に、異なる視点や方法と協働して社会の課題を解くことに情熱を持つ高専卒業生を歓迎します。

□ 共に未来を構想するパートナーとして

本制度は、単なる進学の道を広げるだけの取り組みではありません。SFC では、高専卒業生を「共に学び、共に未来を拓くパートナー」として迎えたいと考えています。

多様なバックグラウンドを持つ仲間とともに、異なる主体との協働を通じて学びを深め、自らの実践知を社会へと解き放つ——そんな思いを持つ学生にとって、SFC は最高の舞台です。

2028年4月第3学年編入学に向けて、2027年度に第1回入学試験を実施します。SFC は、実社会にとって意味のある問題を発見し、異なる視点と協働しながら、それを解決する行動力と情熱を持つ高専卒業生との出会いを、心から期待しています。

■ 募集概要(募集要項は2027年1月下旬に公開予定です。)

- 対象学部:総合政策学部および環境情報学部(どちらかのみ出願可)
- 募集人員:若干名
- 新設時期:第1回入試を2027年春(入学は2028年4月)に実施
- 入試実施時期:6月初旬:出願/7月中旬:二次選考
- 入学時期:入試翌年度の4月

■ 選抜方法

- 1次選考:提出された書類による選考を行います。
- 2次選考:1次選考合格者に対して面接試験を行います。

■ 出願資格(2028年入学の場合)

以下の条件を全て満たす者

- ・高等専門学校を卒業した者、または2028年3月31日までに卒業見込みである者
- ・総合政策学部・環境情報学部への志望理由や入学後の構想が明確であり、高いレベルでこれを実現するに十分な意欲と能力を有する者

■ その他

・認定単位数上限:80単位(卒業に必要な単位数*:124単位)

※第3学年編入学時に認定される単位数によっては、2年間で卒業できない場合があります。

※その他の卒業要件の詳細はウェブサイト等をご確認ください。

以上